



茶わんむしを電子レンジで!!

つるんとおいしい茶わんむし
カンタンにできちぬきます。

用意するもの

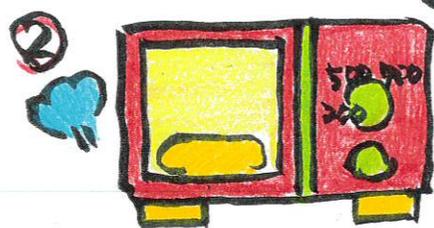
- 卵 1コ
- 水 200ml
- ほんだし 小さじ1
- 好きな具材
(みつば、かまぼこ、しいたけ など...)

① 耐熱容器またはマグカップ
に、卵・水・ほんだしを入れる



よ〜く混ぜてね!

そこに具材を入れてラップをする



② ①をレンジに入れて
200W(解凍用)でじっくり10分加熱する
(※500Wや600Wだと分離してしまうので注意!!)



とろ出す時 熱いから気を付けて
食べる時

かたいもの食べづら、おにも
オススメです。
ぜひためしてみてね♡

知の種

穴埋め漢字

矢印に従って読むと二字熟語になるように□に漢字を入れてください(目標3分)

① 老 ↓ 庭 → □ → 木 ↓ 齡	② 短 ↓ 刀 → □ → 術 ↓ 幕	③ 絶 ↓ 微 → □ → 法 ↓ 薬	④ 深 ↓ 高 → □ → 別 ↓ 流
⑤ 大 ↓ 今 → □ → 話 ↓ 日	⑥ 珠 ↓ 水 → □ → 折 ↓ 碎	⑦ 会 ↓ 解 → □ → 明 ↓ 然	⑧ 匹 ↓ 天 → □ → 意 ↓ 視

春を表わす美しい季語

(春たけなわ) 真・最中を意味する「たけなわ」と
掛け合わせた「春たけなわ」は春らしさを存分に感じ
られ、暖かい気候に綺麗な花々乗らぬ、陽光、おに
春爛漫というイメージがしっくりきます。

3月中旬～4月中旬頃まで、幅広く使われる表現です。

(花の便り) 花の中でも桜が咲いたことを知らせる意味
合いで使われます。綺麗な桜の花びらを
身筒に忍ばせて手紙を送る心細い「花の便り」
です。



春分の日の由来や習慣

春分の日とは1年のうちで昼夜の長さがほぼ同じになる日のことで、3月20日か21日のいずれかになります。

また春分の日には二十四節気の一つ、二十四節気とは1年を地球から見た太陽の位置で24等分しそれぞれに名前を付けたものです。夏至や冬至、秋分、立春、立秋もこれに当たります。

夏至や冬至は祝日ではないのに、春分の日や秋分の日なぜ国民の祝日なのですか？

春分には「春季皇霊祭」、秋分には「秋季皇霊祭」という宮中の儀式が行われてきました。そのため国民の祝日として制定されることになりました。実際には「国民の祝日に関する法律」で祝日と定められ、春分の日が「自然をたたえ生物をいつくしむ」日として、また秋分の日が「祖先をうやまい、亡くなった人々をしのぶ」日として記載されています。もともとこの時期はお彼岸でもあり、ご先祖を祭り感謝してきた風習があります。季節の変わり目に春は五穀豊穣を祈り、秋は収穫に感謝する行事が行われてきたのは、日本で育まれた風土と言えそうです。

春分の日「自然をたたえ生物をいつくしむ日」何をすればいいの？特別な事はなく、芽吹き始めた枝や咲き始めた花の匂いを探しに公園などに出かけたり、河川敷の散歩コースをいっしょに歩いたりして自然を感じてみるのもいいのでは...

春分の日とお墓参り

春分の日や秋分の日はお彼岸の中日、お彼岸にお墓参りへ行ってご先祖を供養したり感謝するのは日本特有の風習。お彼岸は春分の日(秋分の日)を中日にして7日間となります。



[春を表す美しい季語]

麗か(うららか)とは、陽射しが明るく穏やかな春の様子を表す季語です。

和心(わごころ)とは、晴れ晴れとした気分であるときにも使われる。

長閑(のびやか)は、落ち着いて穏やかな様子を表現しています。春らしい風景や心地良い気候が一日中溢れ、何気ない日常の中でのんびりと流れる時間を楽しめるのも春の醍醐味です。

春雨は、細やかに降る春の雨を意味します。霞みがかかる街並みや灰色の曇り空、しっとり濡れる桜の花、どこか優しく静寂気も漂わせ、心を落ち着かせてくれるかのよう。また植物の芽吹きが進んだり、動物も元気に動き始めたり、命に恵みを与える雨。

朦朧(おぼろつき)とは、霞や雲などでかすんで見えない月、霧やもやなどに包まれて柔らかくほのかにかすんで見える月。低気圧が近づいている証拠であり翌日は雨になることが多いのだとか...

霞の夜...霧が養生して霞んで見える光景を春の夜をまとっている様子にたとえた季語です。

花散(はなちかた)は、水面に散った桜の花びらがまとまって、筏のようにゆかり流れていく光景を表わしている。満開の美しい花が散り始める春の終わりを感ずせる季語。

浅春(せんしゅん)は、春になったばかりの時期を指し、季語としてはもちろん時候のあいさつにも用いられます。

少しずつ春めいていく3月前半に使うと移り変わる美しい季節の情景が文面からも伝わるのでは...

